

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》百々 尚美

【概要】

感情心理学は、応用心理学の1つである。感情は人の心の働きと切り離すことができないものであり、心理学的領域において様々な研究が報告されている。

本講義では、感情と心理的側面との関連性を理解することを目指すために、主要な感情研究と理論を解説する。具体的には、感情の基本理論を踏まえ、発達、認知、社会、臨床など各心理学領域から、感情研究の知見を紹介していく。

【学習目標】

- 感情の概念を理解する。
- 感情の生物学的基盤を理解する。
- 感情の理論を理解する。
- 感情の機能を理解する。
- 感情の健康に及ぼす働きを理解する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	感情の定義と用語とは	感情の定義、基本的概念について概説できる。	百々尚美
2 }	感情の理論 -古典的理論とは-	末梢起源説、中枢起源説について概説できる。	百々尚美
3			
4 }	感情の理論 -認知の機能とは-	認知の機能について概説できる。	百々尚美
5			
6 }	感情の理論 -認知が先か、感情が先か論争とは-	認知が先か、感情が先かについて概説できる。	百々尚美
7			
8 }	感情の生物学的基盤とは	視床下部、扁桃体、交感神経と副交感神経、HPA系、恐怖条件づけの脳機構について概説できる。	百々尚美
10			
11	Damasioの感情理論について (課題提出)	Damasioの感情理論について、動画を視聴してレポートを提出する。	百々尚美
12	Ekmanの感情理論について (課題提出)	Damasioの感情理論について、動画を視聴してレポートを提出する。	百々尚美
13 }	感情の機能とは	感情の作用の研究、感情現象の解明について概説できる。	百々尚美
14			
15	Feldman-Barretの感情理論について (課題提出)	Feldman-Barretの感情理論について、動画を視聴してレポートを提出する。	百々尚美

【評価方法】

授業後に行う小テストの結果(20%)、およびレポートの結果(80%)を総合して評価する。

【備考】

教科書 : 適宜プリントを配布する。

参考書 : 『感情心理学』朝倉書房 2007年

『感情と心理学—発達・生理・認知・社会・臨床の接点と新展開』北大路書房 2002年

『感情心理学・入門』有斐閣 2010年

【学習の準備】

シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること（30分）
講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと（60分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

心の問題にかかわる職業人として必要な科学的知識や技術を備え、脳と心との関係について理解し、社会の様々な分野において、心の問題を評価しそれを適切に判断し援助できる基礎的技能を修得する能力を身につける。

【実務経験】

公認心理師

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。